

## 市内事業者支援給付の再実施は



日本共産党議員団  
若山 憲子

また国保と介護保険では加入者の収入形態が異なることが多く、申請書はそれぞれに応じ設けている。今後の書類統一は申請者の利便性を中心に検討したい。

**問** 新型コロナウイルス感染症による国民健康保険料の減免申請に際し、本市では従来の減免申請書を使用しているため、利用者の混乱を招いている。また国保料と介護保険料とで別途申請書類への記入を要している。

**答** コロナ減免は、様式を統一した申請用紙を新たに作るべき。

**答** コロナ減免だけでなく従来の国保減免制度も一括審査できるように、申請の手間を最小限にするため考慮したもの。コロナ減免のみ申請する場合は、窓口で記入説明を行い柔軟に対応している。

## 東部丘陵地の交通渋滞対策は



日本共産党議員団  
語堂 辰文

**問** サンフォルテ城陽における当初の雇用見込みと城陽市民の雇用実態は。正規雇用を広げ、若年層が市に定着できるよう取り組みを。

**答** 総数約1700人を見込んでいたが、令和3年1月時点の立地企業への聞き取り結果では、雇用数は約2060人。このうち城陽市民は約630人で、その中で正規雇用数は約120人となっている。

**問** ①新名神高速道路・東部丘陵地の先行整備に伴い、交通渋滞が予測されるが、対策

は②城陽井手木津川バイパスの開通時期は。

**答** ①プレミアム・アウトレットなど先行整備地区のまちびらきまでに、新名神供用に合わせて国道24号寺田拡幅事業、城陽橋を含む府道山城総合運動公園城陽線、東部丘陵地内の都市計画道路東部丘陵線、国道307号奈良島拡幅事業等が整備され、城陽IC（仮称）宇治田原IC間に4車線の東西幹線道路ネットワークを構築。また広域交通処理としてスマートインターチェンジも設置される。これら道路交通網の整備により、大きな交通の流れが確保できると見ている②現時点で未定だが、早期完成を要望し、最大限協力する。

## 城陽版の災害避難カード作成は



日本共産党議員団  
西 良倫

**問** 府は大雨・台風時に備え、災害発生時、いつ、どこに避難するか、状況に応じた善の避難場所の選択も含め一目でわかるようにした災害避難カード作成を呼びかけている。城陽市版カード作成への取り組み状況は。

**答** 現在、校区自主防災組織において、タイムライン（いつ、どこへ、どのように避難するかを定めておく計画）作成に取り組んでいる。避難カードは基本的にタイムラインの簡易版に当たるもので、府は両者いずれの作成も推進していることから、市としてはタイムラインと同時に活用を進める考えであり、既に令和2年6月の広報じょうようで、避難カードの紹介・説明を行ったところである。

**問** 水害に備えた事前準備の1つとして、平面マップではつかみにくい災害のイメージを明確にし、市民の防災意識を高めるため、電柱等への浸水深標示を積極的に進め、小学校だけでなく、市役所やコミセン、高齢者施設の横にも標示を行う考えは。

**答** 本市は国の、まるとまちづくりハザードマップ事業により、平成26年以降、浸水想定区域内の指定避難所において浸水深の標示を設置しており、今後も順次設置すべく取り組みを進めている。